

## 知っておきたいルール ⑥ノーアド方式のゲーム

### 【ゲームの状態】

ヤマダ・サトウ組とスズキ・タナカ組は、ノーアド方式でダブルスゲームをしていましたが、互いの力が競っていて、ノーアドゲームが多い試合となりました。

**a) コートの選択:** ヤマダ・サトウ組が、第5ポイントのサトウ君のサービスゲームでデュースとなりました。レシーバーチームのスズキ・タナカ組は、右コートのスズキ君のレシーブを選択しました。すると、ヤマダ君が「第3ポイントのデュースのときに、スズキ君がレシーブしているので、今回はタナカ君がレシーブする順番ですよ。」と言いました。スズキ君は、「ノーアド方式でデュースになったとき、レシーバーチームが順番に関係なく、コートサイド(右、左)を決められますよ。」と言いました。ヤマダ君とスズキ君のどちらが正しいのでしょうか。

**b) ノーアドでの誤り:** ヤマダ・サトウ組とスズキ・タナカ組は、ノーアド方式の試合なのに、デュースになっても、そのまま通常のゲームを続けて、2ポイントのゲームをして再度のデュースになったときに、ノーアド方式であることに気づきました。ヤマダ君は、「最初のデュースのときにアドバンテージを取ったので、そこでゲームは終了するのでは。」と言いました。スズキ君は、「皆が気づいていなかったなので、次のポイントで決まるのでは。」と言いました。ヤマダ君とスズキ君のどちらが正しいのでしょうか。

### 【ルールは】

**a) コートの選択:** 両方のプレーヤーチームが、3ポイントずつ取ってデュースになった場合、そこでディサイディング・ポイントをプレーする。その時、レシーバーは右コートでレシーブするか、左コートでレシーブするか決める。ダブルスのレシーバーチームは、レシーブする隊形を変えてはいけない。ディサイディング・ポイントを取った方が、そのゲームの勝者となる。ミックスダブルスでは、サーバーと同性のプレーヤーが、ディサイディング・ポイントをレシーブする。

**b) ノーアドでの誤り:** ノーアド方式の試合で、誤ってスタンダード方式で行い、誤りに気がついた場合は、以下のとおりに行う。

誤りに気がついたときが、デュースであったならば、ただちにノーアド方式に切り替える。

誤りに気がついたときが、Aがアドバンテージならば、もう1ポイントをプレーして、次にAが取ればゲームAで終了し、Bが取ればデュースになり、ここでノーアド方式に切り替える。

誤りに気がついたときが、ゲーム終了であったならば、その結果は成立する。

### 【正しい処置は】

**a) コートの選択:** スズキ君の「ノーアド方式でデュースになったとき、レシーバーチームが順番に関係なく、コートサイド(右、左)を決められる。」が正しい。ミックスダブルスでは、サーバーと同性のプレーヤーがレシーブする。

**b) ノーアドでの誤り:** ルールは、「ノーアド方式の試合で、誤ってスタンダード方式で行い、誤りに気がついたときが、デュースであったならば、ただちにノーアド方式に切り替える。」なので、スズキ君のノーアド方式に切り替えてゲームを続けるが正しい。